

## 2024年7月 マンスリーレポート

### 夜間・休日ワンストップ窓口への相談事例

(感染症に罹患した子の親が治療拒否した場合の対応およびその親子の行動制限について)

#### ご相談内容：

公立病院からのご相談。

当院では今後起こり得るさまざまなケースを想定し、その対応に関し検討を行っている。

以下のようなケースではどのように対応すればよいか伺いたい。

- ① 訪日外国人観光客の未成年の子が発熱症状で当院を受診し、インフルエンザの罹患が確認されたが親は旅程を優先し、帰国するため国内での子の治療を拒否した。医療機関としては親に対し子に治療を受けさせるよう説得を試みるが、どうしても応じない場合はこの親から治療拒否に関する同意書を取付けることとなるが、その対応でよいか。
- ② この親子が帰国時に公共交通機関等を利用することが想定されるので、感染拡大防止のためこの親子に何らかの行動制限がかけられないか。
- ③ 同様のケースでインフルエンザではなく感染症法上の2類感染症に罹患していることが疑われた場合、どのように対応すればよいか。

#### 対応内容：

当窓口から以下を案内した。

感染症が疑われる未成年の患者の親に対しては、医療機関として患者の国籍等に係わらず対応するように。

- ① 未成年の患者の親が医師の指示を無視する場合は、責任の所在を明確にするため治療拒否等の同意書を作成し、この患者の親から署名をもらおうとよい。  
厚生労働省の『外国人向け多言語説明資料 一覧』に「入院治療等の拒否確認書」があるので参考にされたい。
- ② 一般的なインフルエンザに罹患した患者に行動制限をかけることはできないが、医療機関として、この親に対して、感染拡大防止のため一定期間公共交通機関等での移動は控えるよう、またこの親から利用する航空会社へも子が発熱症状があることを事前に相談するよう伝えるとよい。
- ③ 2類感染症が疑われる場合は、早急に地方公共団体(所轄保健所)に報告しその指示に従うこと、その他、感染症法およびその他の特別法に準じ対応すること。

以上

#### 【本事業事務局の連絡先】

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

担当者名 麻田・大久保

TEL 03-6757-1035 E-mail biz-d@emergency.co.jp